

事務事業 No./名 称	☐ サービス部門 ☒ 支 援 部 門 監査-01 監査事務									
主管課	監査委員事務局				関連課		各部各課			
分野名	市民自治									
目標 (目標値)	市民福祉の増進に向け、最小の経費で最大の効果を挙げるとともに行政組織及びその運営の合理化を図ることを留意事項として、監査、審査、検査等の高度化を推進する。									
人口等のデータ	データ区分	25年度		24年度		23年度		備 考		
	人 口	177,895人		177,224人		177,204人		・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	80,295世帯		79,669世帯		79,217世帯				
	事業の対象者数									
運営資源状況	決算値(千円)	3,647		3,684		3,674				
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	3,647		3,684		3,674				
	人員配置数	5.5人		5.0人		5.0人				
	人 件 費(千円)	41,324		38,921		42,003				
	協働のパートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	44,971		42,605		45,677				
	市民1人当りの経費(円)	253		240		258				
	対象者1人当りの経費(円)									
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒	平塚市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市				
	人口(人)	258,539	177,895	417,070	196,274	236,420				
	監査委員定数	4人	2人	4人	3人	3人				
指 標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)			
定期監査及び財政援助団体等監査	◎	目標値	13	15	12	14	14			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	13	17	13	14				

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
監査事務	3,647	監査事務	3,562	今後の 方向性	A	理由 ・手法	市の行政の適法性、効率性、妥当性の保障を期するため、正確性、合規性、経済性、効率性及び有効性の観点から監査を実施する。
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	事務局職員の専門性の向上													
課題解決のための取組	各種研修への積極的参加							取組の結果	■解 決 □未解決					
未解決の課題														
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)				➡		①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	市民の市財政運営への関心が高まる中、業務執行の適正性を確保するため、業務改善に向けた監査を行っていく。										A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡		A	
※□事業完了														
評価者名					監査委員事務局次長					宮田 好朗				

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の 視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
監査事務	財務事務監査、行政監査、財政援助団体等監査、例月現金出納検査、決算等審査、健全化判断比率等審査及び住民監査請求による監査を実施する。				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
		211	監査委員報酬 2人	2,552	2,540	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		211	弁護士報償費	95	0	○	○	○	○
		211	監査委員費用弁償	4	2	○	○	○	○
		211	普通旅費	55	51	○	○	○	○
		211	追録等消耗品費	889	847	○	○	○	○
		211	工事監査技術調査業務委託料	111	87	○	○	○	○
		211	全国都市監査委員会等負担金	120	120	○	○	○	○
※□ 事業完了									

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									